

2013年4月23日
東京急行電鉄株式会社
株式会社 東急百貨店

「渋谷ヒカリエ」開業1周年 年間来館者数が予想比140%超の2,000万人を突破！



東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)が運営する渋谷駅直結の高層複合施設「渋谷ヒカリエ」は、4月26日(金)に開業1周年を迎えます。4月22日時点で年間目標の1,400万人を大幅に超える2,000万人以上のお客さまにお越しいただき、3月16日の東横線・東京メトロ副都心線の相互直通運転開始後も来場者数は順調に推移しています。

1周年を迎えるにあたり、東急電鉄 取締役社長 野本弘文および東急百貨店 取締役社長 二橋千裕は以下のようにコメントしました。

東急電鉄 取締役社長 野本弘文

昨年4月26日に開業した「渋谷ヒカリエ」は、当初の年間目標来場者数1400万人を大きく上回る2000万人以上の方にお越しいただきました。今後も「渋谷ヒカリエ」は、いつも新しいことが始まっている街「エンタテイメントシティ しぶや」を体現する施設であり続けます。

東急百貨店 取締役社長 二橋千裕

「ShinQs」は、感度の高い女性を中心に多くのお客さまにご支持いただいています。今後も渋谷の街の魅力向上に貢献すべく、「ShinQs」ならではの独自性や新しさを追求した品揃えで魅力ある店づくりを目指します。

「渋谷ヒカリエ」は、4月4日から5月6日(月・祝)まで、開業1周年記念プロモーション「Happy Happening」を開催しています。特に、「東急文化会館」のシンボルであったプラネタリウムをアーバンコア4Fで再現する「プラネタラウンジ ～星屑の記憶たち～」や、戦前・戦後の貴重な資料を交え、「東急文化会館」をはじめとした渋谷のまちづくりの変遷をたどる特別建築展「SHIBUYA VISION 進化するエンタテイメントシティ」は、「渋谷ヒカリエ」の前身である「東急文化会館」へのオマージュイベントになっています。

また、4月26日(金)からは渋谷ヒカリエ開業1周年記念特別仕様列車「Shibuya Hikarie号」が運行を開始し、東急線沿線だけでなく、埼玉方面から横浜エリアの街と渋谷ヒカリエを繋ぎ、1周年を盛り上げます。

今後も、渋谷の新たなランドマークとして、多くの情報や文化を発信し続けている2年目の「渋谷ヒカリエ」にぜひご期待ください。

以上